

# 「笑顔あふれる 自然豊かな“あったか ふるさと” 館山」の 実現を目指して



館山市長  
金丸 謙一

館山市では、平成28年3月に、「笑顔あふれる 自然豊かな“あったか ふるさと” 館山」を将来都市像に掲げた「基本構想」（平成28年度～令和7年度）及び『前期基本計画』（平成28年度～令和2年度）からなる『第4次館山市総合計画』を策定し、将来都市像の実現に向けたまちづくりを進めてきました。

その間、私たちを取り巻く社会経済情勢は目まぐるしい変化を続けています。加速する少子高齢化と人口減少に代表される様々な課題に加え、SDGs（エスディーゼズ）やSociety（ソサエティ）5.0、関係人口や多文化共生、広域連携の推進といった新たな時代の潮流への対応も求められています。

こうした中、令和2年度をもって終了する『前期基本計画』に代わり、令和3年度から令和7年度までの5年間を展望した新たな『後期基本計画』を策定いたしました。

この『後期基本計画』の策定にあたっては、市民意識調査やパブリックコメント、館山市総合計画審議会における審議など、広く市民の皆様や各界各層の方々から、まちづくりに対するご意見やご提案をお寄せいただき、今後5年間で取り組むべき施策として取り入れてまいりました。

近年、気候変動等の影響もあり、全国で大規模な地震や風水害による被害が多発しています。館山市でも令和元年房総半島台風で得た多くの経験・教訓を活かし、今後も発生が懸念される大規模な自然災害をはじめとした様々なリスクにも対応できる、「災害にも強い」安全・安心で持続可能なまちづくりを進める必要があります。同時に、温室効果ガスの削減等、市全体で環境に対する意識を高めていくことも重要です。

さらに、新型コロナウイルス感染症の拡大により、「新しい生活様式」の実践が求められ、デジタル技術を活用した「働き方の新しいスタイル」のニーズにも対応していく必要があります。館山市の強みでもある都心からのアクセス性や豊かな自然、郷土の歴史・文化をはじめとする多様な地域資源等を積極的に発信し、魅力的な「しごと」を創出するとともに、多様な「ひと」が個性や能力を発揮でき、互いに支え合い、認め合うことができる、誰もが住み続けたいと思える「まち」づくりを進めていかなければなりません。

館山市が将来にわたって「持続可能なまち」であり続けるために、市民の皆様をはじめ、より多くの方々に市政に参画していただき、館山市の輝かしい未来を共に築いてまいりましょう。

結びに、『後期基本計画』の策定にあたり、貴重なご意見、ご提案をいただきました市民の皆様をはじめ、総合計画審議会委員並びに関係各位に厚くお礼を申し上げますとともに、計画の目標達成に向け、今後とも一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和3年3月

# 目次

|                                    |           |
|------------------------------------|-----------|
| <b>第1部 序論</b> .....                | <b>1</b>  |
| 第1節 計画の趣旨.....                     | 2         |
| 第2節 構成と期間.....                     | 2         |
| 第3節 基本構想の概要.....                   | 3         |
| 第4節 館山市の姿.....                     | 4         |
| (1) 館山市の地勢 .....                   | 4         |
| (2) 館山市の歩み .....                   | 5         |
| (3) 館山市の産業 .....                   | 6         |
| 第5節 館山市の特性と課題.....                 | 7         |
| (1) 館山市の特性 .....                   | 7         |
| (2) 館山市の課題 .....                   | 8         |
| 第6節 人口の将来推計と財政運営の現状.....           | 9         |
| (1) 人口の現状分析 .....                  | 9         |
| (2) 推計人口と将来展望人口 .....              | 9         |
| (3) 人口減少問題に対する基本的視点と目指すべき将来の方向性 .. | 10        |
| (4) 財政運営の現状 .....                  | 11        |
| <br>                               |           |
| <b>第2部 後期基本計画</b> .....            | <b>13</b> |
| 「後期基本計画」重点プラン .....                | 14        |
| 1. 重点プランの位置付けと構成.....              | 14        |
| 2. 重点プランの趣旨.....                   | 14        |
| 3. 4つの重点プラン .....                  | 15        |
| 7つの基本目標とSDGsの17のゴール～持続可能なまちを目指して～  | 19        |
| 第4次館山市総合計画「後期基本計画」の基本施策とSDGsの関係 .. | 22        |
| 「後期基本計画」の構成と記載内容 .....             | 24        |

|                                 |           |
|---------------------------------|-----------|
| <b>【基本目標 1】 子育て・福祉・医療</b> ..... | <b>25</b> |
| 第1節 子育て環境の充実 .....              | 26        |
| 第2節 高齢者福祉の充実 .....              | 30        |
| 第3節 障害者福祉の充実 .....              | 33        |
| 第4節 低所得者福祉の充実 .....             | 35        |
| 第5節 地域福祉の推進 .....               | 36        |
| 第6節 保健・医療体制の充実 .....            | 38        |
| 第7節 健康づくりの推進 .....              | 40        |
| <br>                            |           |
| <b>【基本目標 2】 教育・文化</b> .....     | <b>43</b> |
| 第1節 学校教育の充実 .....               | 44        |
| 第2節 青少年の健全育成強化 .....            | 48        |
| 第3節 生涯学習の推進 .....               | 50        |
| 第4節 歴史の継承と文化の振興 .....           | 52        |
| 第5節 スポーツの振興によるまちづくり .....       | 55        |
| 第6節 国際交流・地域間交流の促進 .....         | 58        |
| <br>                            |           |
| <b>【基本目標 3】 産業・経済</b> .....     | <b>61</b> |
| 第1節 観光の振興 .....                 | 62        |
| 第2節 農水産業の振興 .....               | 67        |
| 第3節 商工業の振興 .....                | 71        |
| 第4節 新たな雇用の創出と就業支援の強化 .....      | 74        |
| 第5節 移住・定住の促進 .....              | 76        |
| 第6節 交流拠点施設を核とした地域活性化 .....      | 79        |
| <br>                            |           |
| <b>【基本目標 4】 基盤整備</b> .....      | <b>81</b> |
| 第1節 住環境の充実と市街地の利便性向上 .....      | 82        |
| 第2節 公園の機能充実と緑化の推進 .....         | 84        |
| 第3節 道路環境の充実と河川整備の促進 .....       | 86        |
| 第4節 交通体系の充実 .....               | 89        |
| <br>                            |           |
| <b>【基本目標 5】 環境共生</b> .....      | <b>91</b> |
| 第1節 自然環境の保全と景観形成の促進 .....       | 92        |
| 第2節 環境・衛生対策の充実 .....            | 94        |
| 第3節 資源循環型社会の構築 .....            | 97        |

|                                |            |
|--------------------------------|------------|
| <b>【基本目標6】 防災・安全</b> .....     | <b>99</b>  |
| 第1節 防災体制の強化.....               | 100        |
| 第2節 消防・救急の充実.....              | 103        |
| 第3節 交通安全・防犯体制の強化.....          | 106        |
| 第4節 消費者保護対策の推進.....            | 108        |
| <br>                           |            |
| <b>【基本目標7】 市民参画・行政運営</b> ..... | <b>109</b> |
| 第1節 市民参画の促進.....               | 110        |
| 第2節 地域コミュニティ活動の推進.....         | 112        |
| 第3節 男女共同参画の推進.....             | 114        |
| 第4節 情報発信力の強化.....              | 116        |
| 第5節 戦略的な行財政運営.....             | 119        |
| 第6節 広域行政の推進.....               | 122        |
| <br>                           |            |
| 第4次館山市総合計画「後期基本計画」計画事業リスト..... | 124        |

|                                  |            |
|----------------------------------|------------|
| <b>資料編</b> .....                 | <b>133</b> |
| ●第4次館山市総合計画「後期基本計画」策定方針.....     | 134        |
| ●「第2期館山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の概要..... | 138        |
| ●館山市について.....                    | 142        |
| ●館山市附属機関設置条例（抜粋）.....            | 144        |
| ●館山市総合計画審議会委員名簿.....             | 145        |
| ●「後期基本計画」の策定について（諮問）.....        | 146        |
| ●「後期基本計画」について（答申）.....           | 147        |
| ●策定経過概要.....                     | 148        |
| ●市民意識調査（市民まちづくりアンケート）の結果概要.....  | 150        |
| ●「前期基本計画」に係る政策評価の概要.....         | 155        |
| ●用語解説.....                       | 157        |

（本文中「\*」が付いている用語については、巻末に解説があります）





# 第1部 序論

## 第1節 計画の趣旨

館山市では、「笑顔あふれる 自然豊かな“あったかふるさと”館山」を将来都市像に掲げた「基本構想」(平成28年度～令和7年度)及び『前期基本計画』(平成28年度～令和2年度)を策定し、将来都市像の実現に向けたまちづくりを進めてきました。

その間、加速する少子高齢化と人口減少に代表される様々な課題に加え、SDGs\* (エスディージーズ) やSociety (ソサエティ) 5.0\*、関係人口\*や多文化共生\*、広域連携の推進といった新たな時代の潮流への対応も求められています。

また、近年多発している大規模な地震や風水害による被害の経験を活かし、今後も発生が懸念される大規模な自然災害をはじめとした様々なリスクにも対応できる、「災害にも強い」安全・安心で持続可能なまちづくりを進める必要があります。

こうした状況の中、本市が将来にわたって持続可能なまちづくりを行っていくためには、これまで以上に重点的・効率的な行政運営が不可欠です。

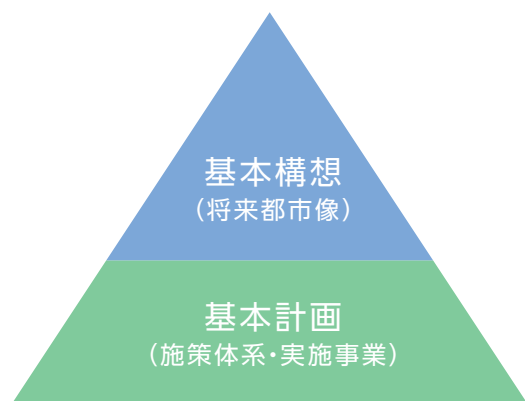
そこで、令和2年度をもって終了する『前期基本計画』に代わり、令和3年度から令和7年度までの5年間を展望した新たな『後期基本計画』を策定しました。

## 第2節 構成と期間

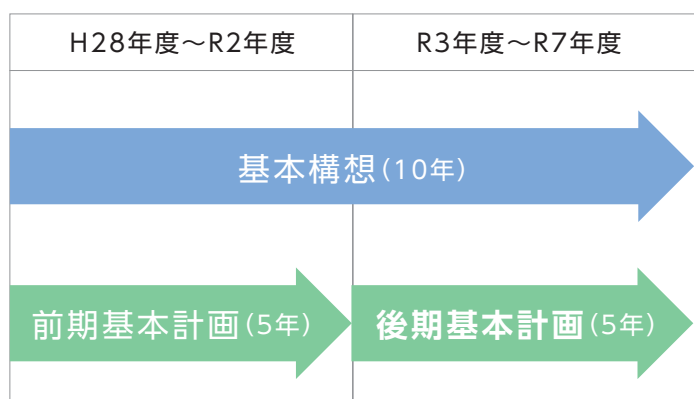
総合計画は、「基本構想」と「基本計画」から構成されます。「基本構想」は、長期的な視点に立ち、本市のまちづくりの基本理念や目指すべき将来都市像など、市政の長期的ビジョンを示すものです。また、「基本計画」は、基本構想を実現するための各政策分野の具体的な施策・事業を明示し、総合的・体系的にまとめたものです。

「基本構想」の期間は、平成28年度～令和7年度の10年間であり、その概要は次ページに示すとおりです。また、「基本計画」の計画期間は5年間であり、このたび策定した『後期基本計画』の計画期間は、令和3年度～令和7年度です。

### ■総合計画の構成



### ■総合計画の期間



## 第3節 基本構想の概要

### ■将来都市像

館山市は、東京都心に近い立地条件にありながら、温暖な気候と、輝く海、緑豊かな自然に囲まれ、恵まれた環境のもと、あたたかな人々と、大切な歴史や伝統・文化をはぐくんできました。

私たちは、この素晴らしい財産をもう一度見つめ直し、「ふるさと館山」への誇りと愛着を大切に守り、育てていくことが、館山のまちづくりの目指すべき方向と考えます。

そして、この地を訪れる方・移住してくる方・帰ってくる方、すべての人々が、ゆったりとあたたかな「人と人のふれあい」・「人と自然とのふれあい」を重ねることで、まち全体が、いきいきとした笑顔と活気であふれる元気なまちとなることを目指します。

笑顔あふれる 自然豊かな  
「あったか ふるさと」館山

### ■重視する4つの視点

館山市が直面している人口減少・少子高齢化の中で、計画の実効性を高めるため、次の4つの視点を重視し、各分野の施策の連携・調整を図りながら、戦略的なまちづくりを進めていきます。

「ひと」をはぐくむ

～健やかなからだと豊かな心をはぐくむまちづくり～

「しごと」を創る

～地域の特性と魅力を活かした産業・経済の振興と活力あるまちづくり～

「まち」を築く

～美しい自然と快適な生活が調和した持続可能なまちづくり～

「くらし」を支える

～ともに助け合い安全・安心で住みやすいまちづくり～

### ■まちづくりの手法

① 既存の仕組み・枠組みを越えた幅広い連携

② 担い手との協働で進めるまちづくりの推進

③ 優先する取組の明確化と経営資源の重点的配分

④ 的確な成果指標の設定と適正な進捗管理・評価によるPDCAの徹底



## 第4節 館山市の姿

### (1) 館山市の地勢

館山市は千葉県房総半島の南端に位置し、東京の中心部からは100km圏、県都・千葉市からは直線距離で約70kmにあります。面積は110.05km<sup>2</sup>であり、西は波穏やかな館山湾、南は黒潮おどる太平洋に面し、内陸部には緑豊かな田園や照葉樹林の丘陵が広がっています。年間平均気温は16℃以上と、冬でも花が咲き誇る温暖な気候に恵まれています。

南房総国立公園にも指定される34.3kmの変化に富んだ海岸線には、別名「鏡ヶ浦」とも呼ばれる館山湾越しに望む富士山や夕日の絶景、美しい砂浜が広がる平砂浦海岸など、数多くの景勝地が存在します。また、サンゴやウミホタルの生息域として、貴重な海洋生物資源を有し、さらに、スキューバダイビングをはじめ、シーカヤックやSUP（スタンドアップパドルボード）などのマリンスポーツや夏の海水浴の適地としても知られています。

半島という地理的特性を有しながら、東京湾アクアラインと東関東自動車道館山線の全線開通により、東京都心からのアクセスは飛躍的に向上しました。また、「館山夕日栈橋（館山港多目的観光栈橋）」や交流拠点「“渚の駅” たてやま」の完成により、海の玄関口としての整備も進み、海路・陸路の交流拠点としての発展が期待されています。

一方、房総半島の南端という立地特性から、自然災害への備えも重要となっており、特に近年では、令和元年房総半島台風などにより大きな被害を受けたことから、防災力の更なる強化に向けた取組が進められています。





## (2) 館山市の歩み

館山市は、館山北条町・那古町・船形町が合併し、昭和14(1939)年に誕生しました。その後、昭和29(1954)年に西岬村・神戸村・富崎村・豊房村・館野村・九重村を合併して、現在の館山市の姿となりました。そのような地理的・歴史的背景から、市内10地区はそれぞれ固有の特徴を有しています。

### ■主なできごと（近代以降）

| 年号（西暦）     | 主なできごと  |
|------------|---|
| 明治11（1878） | 館山と東京の間に気船の航路ができる                                       |
| 明治30（1897） | 北条に安房郡の郡役所がおかれる   |
| 明治34（1901） | 安房中学校（現在の県立安房高等学校）が開校する                                 |
| 大正7（1918）  | 那古船形駅が開業する  |
| 大正8（1919）  | 安房北条駅（現在の館山駅）まで鉄道が開通する／洲崎灯台が点灯する                        |
| 大正12（1923） | 関東大震災により大きな被害を受ける                                       |
| 昭和5（1930）  | 館山海軍航空隊ができる   |
| 昭和14（1939） | 館山北条町・那古町・船形町が合併して館山市となる                                |
| 昭和28（1953） | 警備隊（現在の海上自衛隊）館山航空基地ができる                                 |
| 昭和29（1954） | 西岬村・神戸村・富崎村・豊房村・館野村・九重村が館山市に加わる                         |
| 昭和33（1958） | 南房総国立公園に指定される   |
| 昭和35（1960） | 市役所新庁舎が落成する   |
| 昭和57（1982） | 館山城（八犬伝博物館）が開館する／第1回城まつり開催される                           |
| 平成8（1996）  | 利根川からの安定した水道用水が送られてくるようになる                              |
| 平成9（1997）  | 東京湾アクアライン開通   |
| 平成11（1999） | 館山駅新駅舎供用開始  |
| 平成12（2000） | 館山湾が特定地域振興重要港湾に選定される                                    |
| 平成19（2007） | 東関東自動車道館山線全線開通  |
| 平成22（2010） | 「館山夕日栈橋（館山港多目的観光栈橋）」ができる                                |
| 平成24（2012） | 交流拠点「渚の駅” たてやま」がオープン                                    |
| 平成27（2015） | 「洲崎灯台」が国の登録有形文化財（建造物）になる<br>『館山市まち・ひと・しごと創生総合戦略』がスタートする |
| 平成28（2016） | 『第4次館山市総合計画』がスタートする                                     |
| 令和元（2019）  | 市制施行80周年／<br>令和元年房総半島台風などの風水害により大きな被害を受ける               |

### (3) 館山市の産業

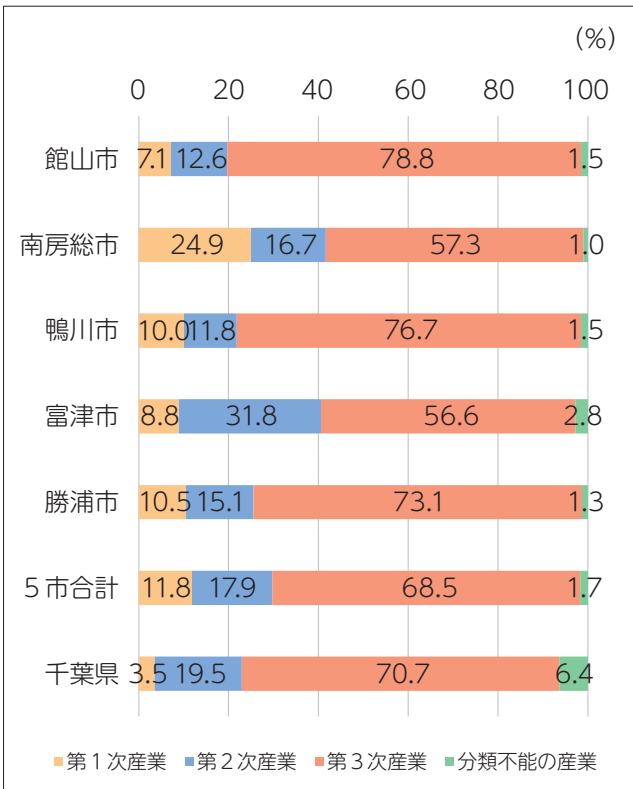
館山市内で働く従業者数<sup>注)</sup>は22,760人(平成27年国勢調査)であり、近年は減少傾向にあります。従業者を産業別で見ると、78.8%が第3次産業に従事しており、第1次産業(7.1%)、第2次産業(12.6%)を大きく上回っています。産業別の構成比を周辺自治体と比較すると、第3次産業でやや高く、第1次産業で低い傾向がみられます。

事業所数は2,776カ所(平成28年経済センサス)で、従業者数と同様に近年は減少傾向にあり、第3次産業が多いことが特徴です。従業者数、事業所数ともに小売業、飲食サービス業、宿泊業などの業種が多くなっていますが、近年では高齢化を背景として医療・福祉関連分野も増加しています。

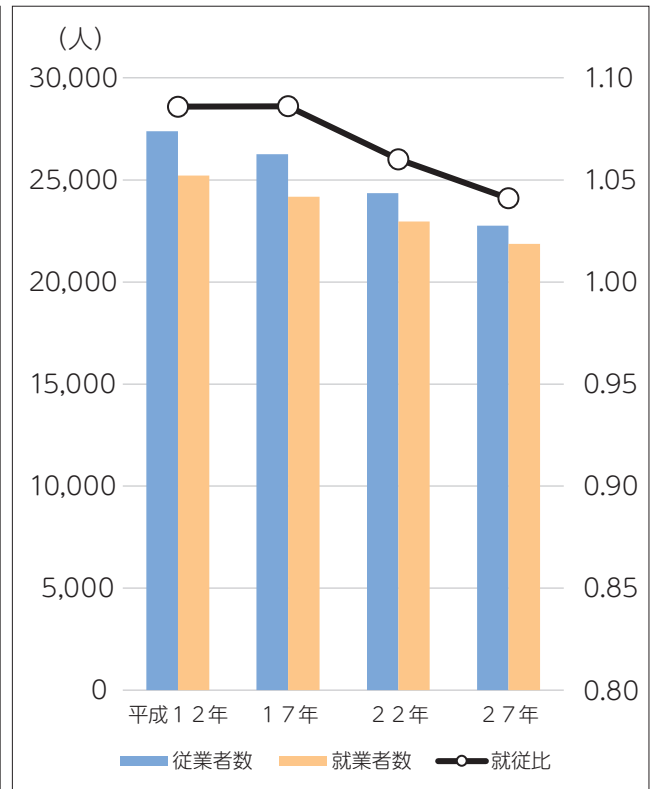
館山市では、従業者数、就業者数<sup>注)</sup>ともに減少傾向にありますが、従業者数は依然として就業者数を上回っており、従業者数/就業者数で算出される就従比は1より高い水準にあります。昼間に市外からの流入人口を多く集めており、館山市は、安房地域の中で「拠点性の高いまち」といえます。

注) 従業者数は市内で働いている人(市民以外も含む)、就業者数は働いている市民(市外で働いている人も含む)。

従業人口構成比の比較(平成27年)



従業者数・就業者数・就従比の推移



出典：平成27年国勢調査



## 第5節 館山市の特性と課題

### (1) 館山市の特性

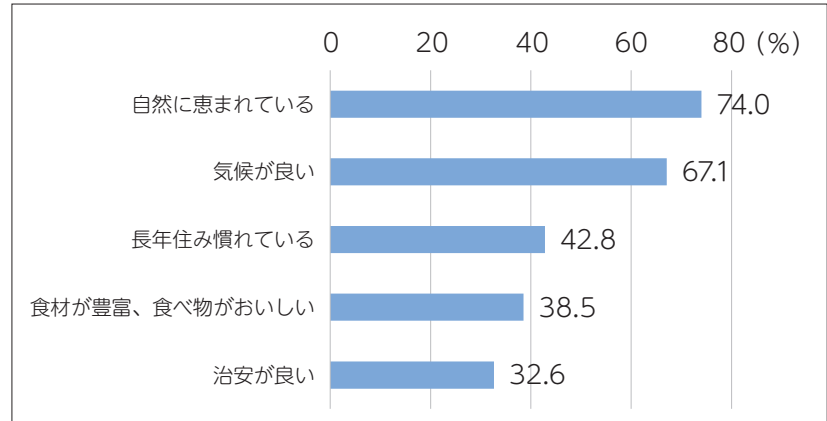
市民意識調査（令和2年2月度実施）などからみた館山市の主な特性は、次のとおりです。

#### ■豊かな「自然」に恵まれている

館山市は、東京湾アクアラインを利用すれば、東京都心から1時間半という立地にあり、美しい海や緑の里山\*といった自然、温暖で過ごしやすい気候、豊かな食材に恵まれたまちです。

市民もこれらの点を「住みやすい」と感じています。

館山市の「住みやすい」点（市民意識調査より上位5位）

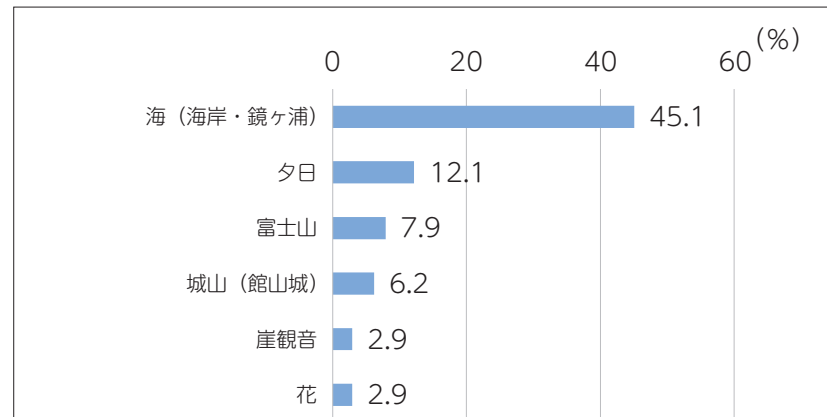


#### ■美しい「海」が自慢である

房総半島の南端に位置する館山市は、内房・外房の海に臨み、30 km以上に及ぶ変化に富んだ海岸線を有する海辺のまちです。

特に鏡ヶ浦（館山湾）の景観と鏡ヶ浦越しに見る夕日、富士山の眺望などが、市民の自慢となっています。

来訪者に自慢したい素敵な場所や風景（市民意識調査より上位5位）

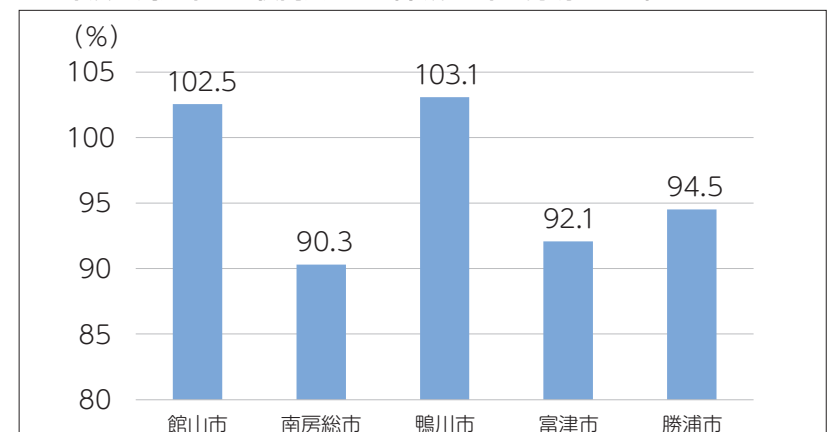


#### ■安房地域の中で「拠点性」が高い

昼夜間人口比は102.5%（平成27年国勢調査）であり、安房地域の中では鴨川市と並んで拠点性の高いまちです。

通勤・通学では特に南房総市との関係性が強くなっています。

館山市及び周辺市の昼夜間人口比（平成27年国勢調査より）



## (2) 館山市の課題

市民意識調査（令和2年2月実施）などからみた館山市の主な課題は、次のとおりです。

### ■過度な人口減少の抑制が必要である

館山市の人口は減少を続けており、高齢化も進行しています。

人口減少は地域経済・地域社会の維持に大きな影響を及ぼすことから、次世代を産み育てる世代の移住・定住を促すなどの取組により、過度な人口減少を抑制していく必要があります。

館山市の総人口・65歳以上人口・高齢化率の推移（国勢調査より）

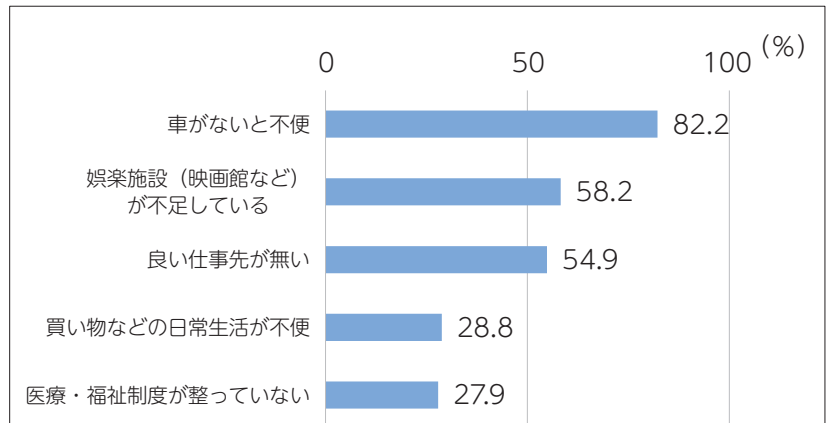
|            | 平成7年   | 平成17年  | 10年間の増減動向 | 平成27年  | 10年間の増減動向 |
|------------|--------|--------|-----------|--------|-----------|
| 総人口（人）     | 52,880 | 50,527 | ▲2,353    | 47,464 | ▲3,063    |
| 65歳以上人口（人） | 11,760 | 14,172 | 2,412     | 17,486 | 3,314     |
| 高齢化率（%）    | 22.2   | 28.0   | 5.8       | 36.9   | 8.9       |

### ■生活の利便性やまちの活力向上が求められている

人口減少と高齢化が進む中、地域内交通や買い物など生活の利便性向上が求められています。

また、安房管内の有効求人倍率は千葉県内でも高いものの、「良い仕事先がない」という声は依然として多く、求職者が求める職種や条件等と地域の求人との間にミスマッチが生じているため、その解消が求められます。

館山市の「住みにくい」点（市民意識調査より上位5位）



### ■安全・安心な環境づくりが求められている

近年の台風被害や新型コロナウイルス感染症の拡大などの状況から、安全・安心な環境づくりが求められています。

市民意識調査では、防災体制の強化や消防・救急の充実のほか、子育て環境の充実や保健・医療体制の充実が、重要な施策としてあげられています。

館山市の施策の重要度（市民意識調査より上位5位）

|                     |
|---------------------|
| 1. 新たな雇用の創出と就業支援の強化 |
| 2. 防災体制の強化          |
| 3. 子育て環境の充実         |
| 4. 保健・医療体制の充実       |
| 5. 消防・救急の充実         |





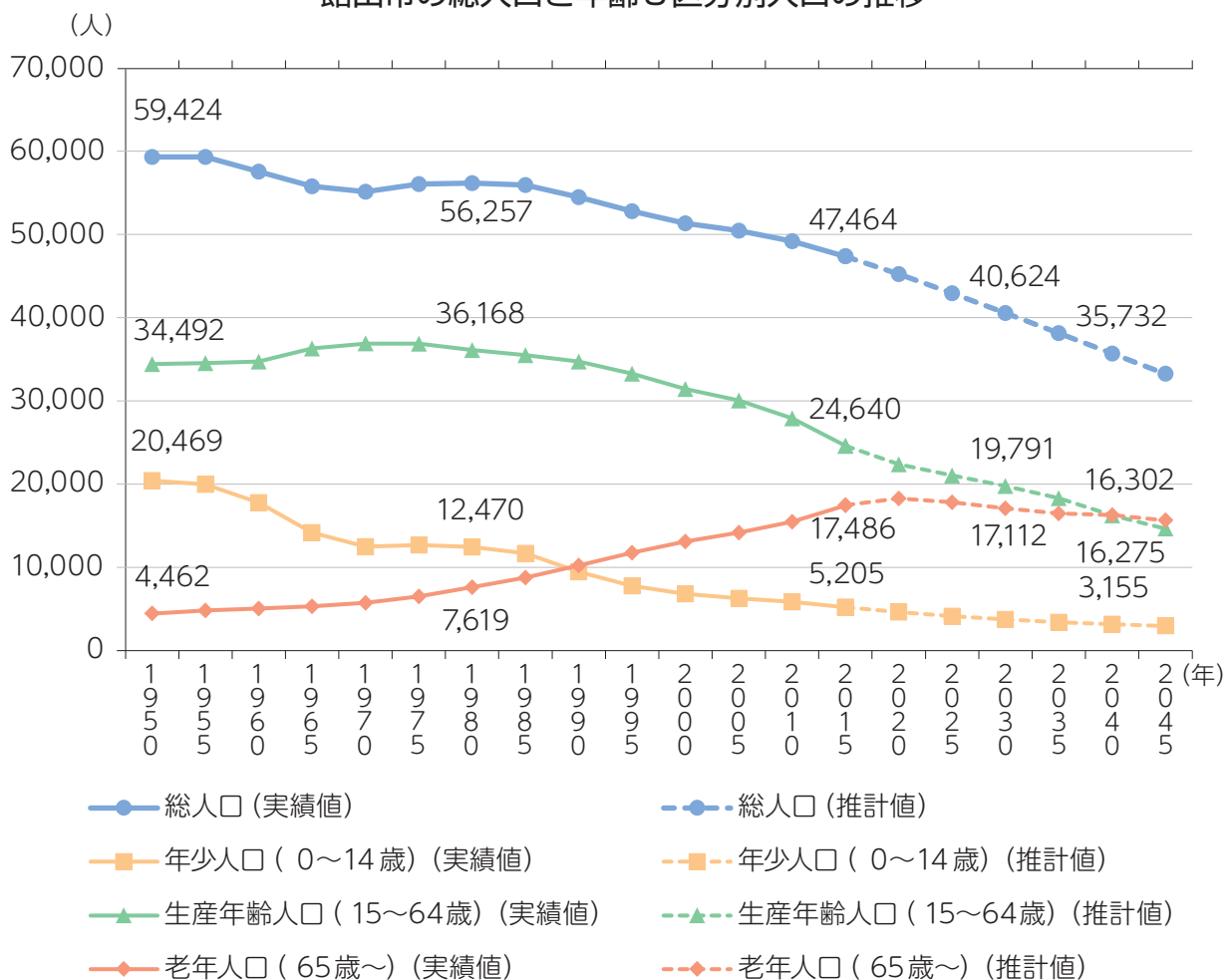
## 第6節 人口の将来推計と財政運営の現状

### (1) 人口の現状分析

館山市の人口は、1980年代以降減少傾向にあり、平成27（2015）年には47,464人となっています。2015年の国勢調査に基づく国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という。）の推計によれば、人口減少が加速化し、令和22（2040）年には約25%減の35,732人になるものとされています。

特に年少人口と生産年齢人口\*の減少が著しく、2040年の高齢化率は45.6%に達しますが、老年人口そのものは、令和2（2020）年をピークに減少に転じるものと推計されています。

館山市の総人口と年齢3区分別人口の推移

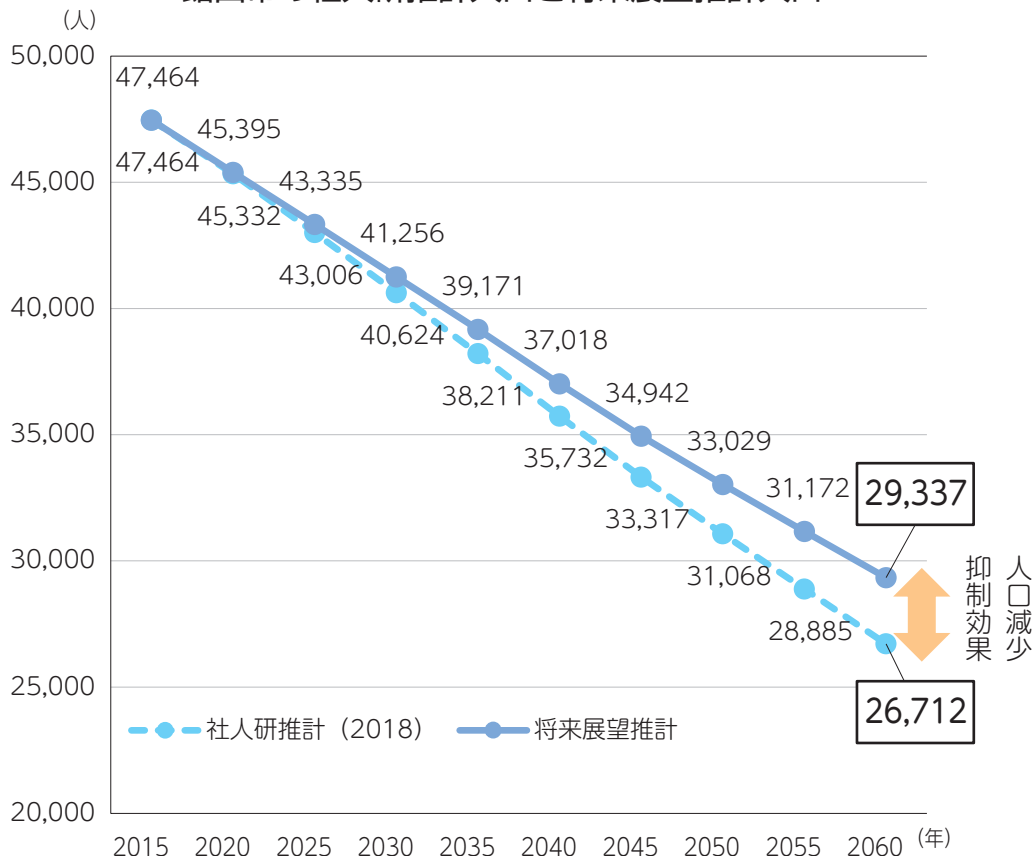


### (2) 推計人口と将来展望人口

社人研推計準拠による人口推計では、令和42（2060）年の館山市の人口は26,712人まで減少するとされます。

しかし、目指すべき将来の方向性に向けた取組を進めることで、令和42年には29,337人となり、社人研推計準拠による推計人口と比較して、約2,600人の政策効果（人口減少抑制効果）が見込まれます。

館山市の社人研推計人口と将来展望推計人口



### 【目 標】

## 令和42（2060）年に約30,000人を維持

社人研推計値の26,712人との差である  
約2,600人の政策効果（人口減少抑制効果）を見込みます。

### （3）人口減少問題に対する基本的視点と目指すべき将来の方向性

#### ■基本的視点

人口推計によると、中長期的には人口減少は避けられません。よって、過度な人口減少を抑制し、まちの活力を維持することが必要になります。人口減少・少子高齢社会を見据えた持続可能なまちづくりを進めるとともに、人口減少の抑制のためには、若い世代が安心して結婚・出産・子育ての希望をかなえることができるよう支援し、出生数の増加と自然動態の改善を図ることが重要となります。

#### ■目指すべき将来の方向性

若者の移住・定住の促進、安心して生活できる環境の整備、それに基づく結婚・出産・子育ての希望の実現のため、安定した「しごと」の創出が急務です。各政策分野の相乗効果により、まち・ひと・しごとの創生と活性化・魅力向上につながる好循環の確立を目指します。

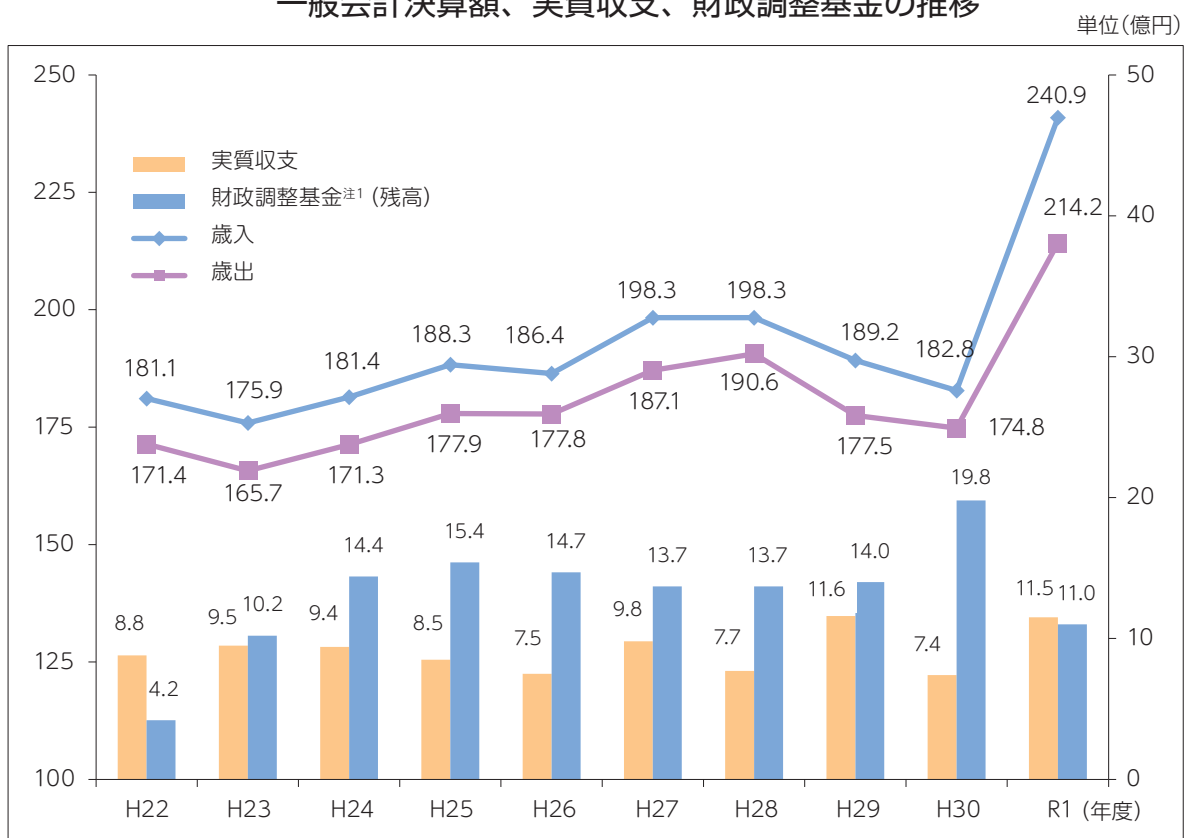
## (4) 財政運営の現状

近年の財政運営状況については、公共施設の老朽化や耐震性向上に伴う改修事業などにより、決算規模が年々増加傾向にあります。また、人口減少・少子高齢化の進行により、市税収入は年々減少基調になる一方、高齢化率の上昇に伴う社会保障関連経費が増加しています。

今後についても、更なる人口減少・少子高齢化の進行に加え、館山中学校の整備や老朽化した清掃施設の大規模改修などを控え、厳しい財政運営が続くものと予測されています。

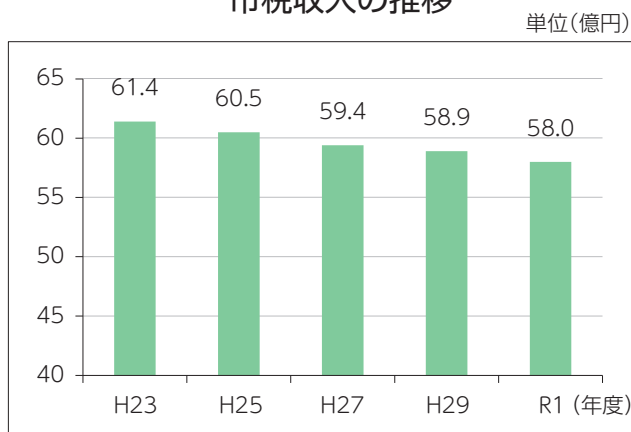
このような状況の中、市では『第3次館山市行財政改革方針（平成30年度策定）』に基づき、歳入確保・歳出削減の取組を更に推進させるとともに、人口規模に見合った公共施設の適正化や指定管理者制度の導入などアウトソーシングの推進により、財政の安定と健全化に努めていきます。

### 一般会計決算額、実質収支、財政調整基金の推移

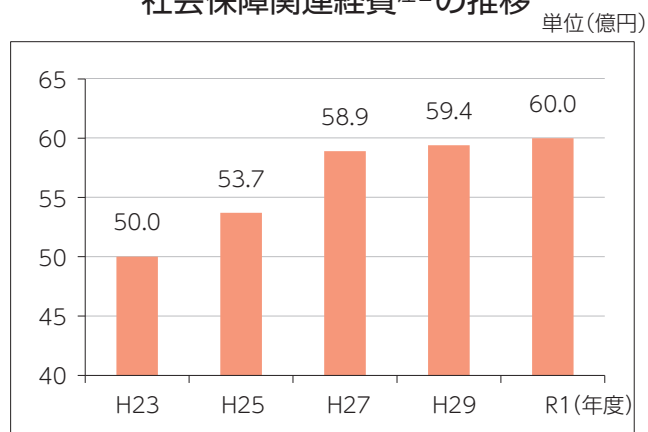


注1 財政調整基金とは、安定した財政運営を行うための貯金にあたるものです。

### 市税収入の推移



### 社会保障関連経費<sup>注2</sup>の推移



注2 社会保障関連経費とは、医療・障害者福祉・介護・生活保護など、安定した市民生活のため使われる費用です。

## 未来につなげる SDGs ポスターコンテスト 入選作品

主 催：一般社団法人館山青年会議所  
実施期間：令和2年10月10日～11月6日



(審査員コメント)  
平和な世にのみ姿を現すとされる鳳凰  
を中心に、テーマをよく理解して表現  
している工夫が素晴らしい。

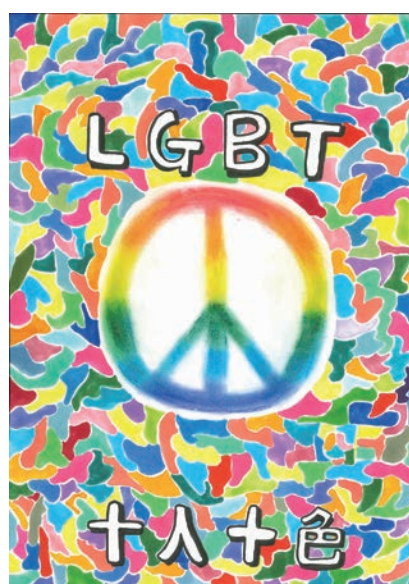


### 最優秀賞

九重小学校5年 加藤 楓さん  
『ほうおうが現れる平和な国へ』



(審査員コメント)  
ジェンダー平等から十  
人十色と一歩発展させ  
ており、目を引く色使  
いやメッセージ性の強  
さもポスターとして素  
晴らしい。



### 房日新聞社賞

北条小学校6年 青木 星さん  
『十人十色』

※学年は令和2年度時点